

信州F・POWERプロジェクトについて

長野県林務部

1 取組の目的

- 成熟しつつある森林資源を有効に活用することにより、利益を山側に還元することで林業の再生と木材産業の振興を図る。
- 木質バイオマス発電施設の整備と発電施設から発生する熱の利用を通して、環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与する。

2 事業費及び補助金

補助金は「森林整備加速化・林業再生基金」を活用

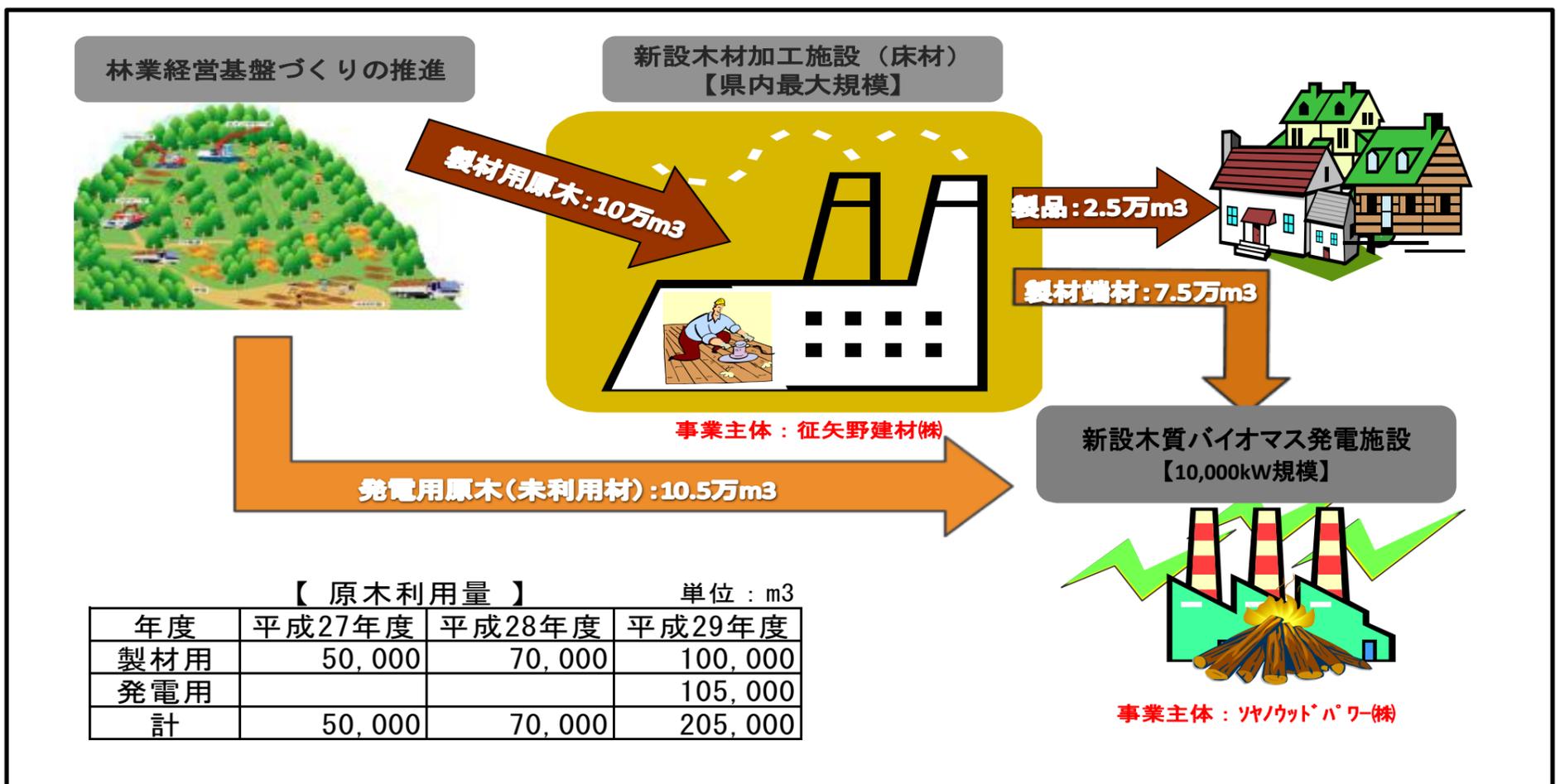
単位：億円

区分	内容（特徴）	事業費	補助金額 (資金融通含む)
木材加工施設	①原木利用量：10万m ³ （アカマツ、広葉樹他） ②製品：フローリング2.5万m ³ ③製材・加工施設：欧米型のワンウェイライン（分速60m）	51.6	21.1
内訳	製材施設 貯木場、選木機、剥皮機、製材機、乾燥機、製品加工機、管理棟、作業用建物、製品保管庫	44.3	21.1
	用地造成	7.3	-
木質バイオマス発電施設	①発電規模 10,000KW/h（1.6万世帯の年間消費電力に相当） ②原木利用量 18万m ³ （製材端材7.5万m ³ 未利用材10.5万m ³ ）	57.3	13.8
内訳	発電施設 ボイラ、タービン、復水器、受電施設等	42.0	7.5
	木質チップ製造施設 チップパー、チップヤード等	15.3	6.3
合計		108.9	34.9

3 全体スケジュール

項目・年度	H25	H26	H27	H28	H29
用地造成	■				
木材加工施設		■ 施設整備(工場製作含む)	■ 試験稼働後 本格稼働		
木質バイオマス発電施設		■ 資金計画・実施設計	■ 施設整備(工場製作含む)	■ 試験稼働後 本格稼働	
熱利用施設			■ 施設整備計画作成・施設整備		
原木の安定供給体制	■ サプライチェーンセンターの設置		■ 需給情報の一元管理・低コスト安定供給		

4 木材の利用量



(1) 施設整備等

項目	平成26年度	平成27年度
木材加工施設	①12月末に製材棟、加工棟、製品保管庫、管理棟などの建物と貯木場が完成 ②現在製材・加工機械等の据付け作業中、3月末には全て完成する計画	① 4/10には竣工式を開催する予定 ②試験稼働を経て本格稼働に移行し、初年次はフロア材の製造を主体に5万m3の原木を加工する計画
バイオマス発電施設	①出資関係者との調整を実施、1月末には出資者内定し、以降SPCを設立 ②発電施設は、詳細設計に着手	①発電施設の建設（～H28年度）
熱利用	①公共施設への木質ペレット燃料機器導入及び導入コスト削減策の調査・研究	①木材加工施設から発生するオガ粉を活用したペレット燃料の事業化調査・研究 ②熱利用地の基本プラン作成

(2) 原木の安定供給

項目	平成26年度	平成27年度
製材用	①10/20にサプライチェーンセンター構成4団体と征矢野建材㈱が安定供給協定を締結 ②11/21から原木の取引が開始 ③原木需給調整会議を定期的開催	①木材加工稼働初年次として5万m3の原木を供給する計画 ②2年次（H28年度）の7万m3の安定供給協定の締結
発電用	①供給者のサプライチェーンセンター構成4団体、需要者の征矢野建材㈱、発電者のソヤノウッドパワー㈱間において、取り交わす「安定供給基本合意書」についての合意形成	①「安定供給基本合意書」を締結する計画 ②合意書締結以降、原木の取引を開始

施設の整備状況（平成26年12月現在）

